

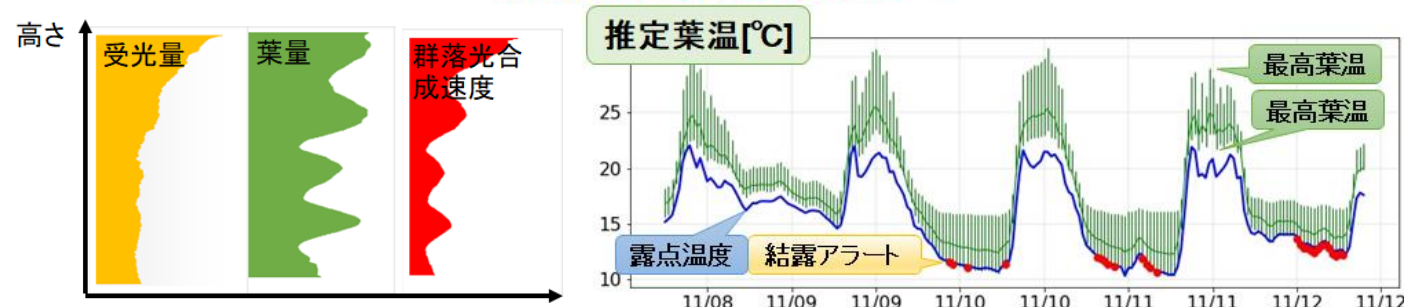
(高知大学) 北野雅治、岩尾忠重、山崎富弘、齊藤雅彦、但田育直、野村浩一、森牧人、山根信三、西脇芳典、浜田和俊 (九州大学) 安武大輔、岡安崇史

研究概要

最新のAI（人工知能）技術を用いて、作物画像と環境情報から、受光量、葉量、光合成量、葉温の見える化を実現しました。



スマホの撮影画像で診断！！



応用範囲

葉量や光合成量の分布を直感的に把握でき、剪定や葉欠き作業の目安となります。樹形データが蓄積されると、剪定のアドバイスも可能となります。また、カメラが作物の葉温をリアルタイムで推定し、温度ストレス、水ストレス、結露危険性等のアラート通知も可能です。

今後の展開

高知大学内のプロトタイプシステムで検証が完了した機能から順次、高知県IoPクラウド（SAWACHI）に搭載し、効果的な営農支援ができるよう、データ収集、機能改善を行っていきます。